



空気清浄機は空気から受動喫煙の煙を十分に取り除くことはできない(3)。このため、建物の換気基準を開発している全米暖房冷凍空調技術者協会 (ASHRAE) は、たばこの煙が存在していると、換気では清浄な屋内空気を提供することはできないと結論している(27)。換気システムは、意図せずに、建物

のその他の部分に煙を広げてしまう可能性もある。

子どもが受動喫煙にさらされることは、どれくらい普通にあることなのだろう？

世界中では子ども 10 人あたり約 5 人が受動喫煙の煙にさらされている：東欧諸国では子ども 10 人あたり約 8 人が受動喫煙の煙にさらされている

世界中で 13～15 歳の生徒 10 人あたり約 5 人が家庭、公共の場所、またはその両方で受動喫煙にさらされている(28)。曝露は東欧諸国で最も多く、家庭では子ども 10 人あたり 7 人が、家庭外では 10 人あたり 8 人が受動喫煙にさらされていると報告している(表 2)。小児の間で報告された受動喫煙への曝露率が最も高かったのはセルビア、ボスニアヘルツェゴビナ、グルジア、およびクロアチアで、調査した小児のほぼ全員が家庭で曝露されていると報告した(47)。

次に受動喫煙への曝露率が高いのは、西太平洋諸国で暮らす子どもたちである。平均で、マレーシアとフィリピンでは、子ども 10 人のうち約 6 人が家庭で曝露している。また、東南アジア、アメリカ諸国、および東地中海諸国では子ども 10 人のうち約 4 人が受動喫煙にさらされている。アフリカの子どもは曝露されている可能性が最も低い、10 人中 2 人が家庭

で、10 人中 4 人がその他の場所で、受動喫煙にさらされていると報告している(28)。西欧諸国は世界青少年たばこ調査 (Global Youth Tobacco Survey, GYTS) に参加していないが、他の調査から 10 人中 3～6 人の子どもが家庭で受動喫煙にさらされていることが推定される(29)。米国では、13～15 歳の子ども 10 人のうち 4 人が家庭で、7 人が家庭以外の場所で受動喫煙にさらされている(図 1)。

米国では低年齢の小児の曝露を血中コチニン濃度で測定した。測定されたコチニンに基づくと、3～11 歳の子どもでは 10 人あたり 6 人(つまり 2200 万人)が受動喫煙にさらされていると推定される。血中コチニン濃度から、米国では 12～19 歳の思春期の 1800 万人が曝露していることも示された(3)。受動喫煙にさらされた子どもは健康への直接的な悪影響を受けるだけでなく、喫煙を始める可能性が高くなる。世界青少年たば

